

CASBEE新潟 | 評価結果



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版

■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	北越紀州製紙(株)新潟工場6-4、 東区 榎町57番地 工業専用地域・22条: 事務所, 工場, 2012年12月 予定 9,857.90 m ² 4,129.63 m ² 8,174.04 m ² 地上2F S造 実施設計段階評価 2012年5月15日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{41}{35} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.0
			更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.9		耐震・免震	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.8
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1 5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1 4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮・快適性の向上	Q3.3.1 2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ・PAL値170.2となり、建物の熱負荷抑制に配慮している。
- ・節水機器を過半以上に採用し、水資源保護に配慮している。
- ・OAフロアを採用し、部材の再利用可能性に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

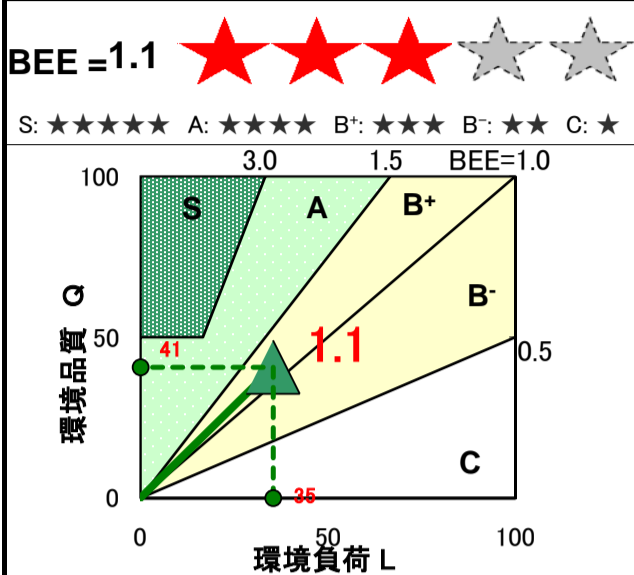
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

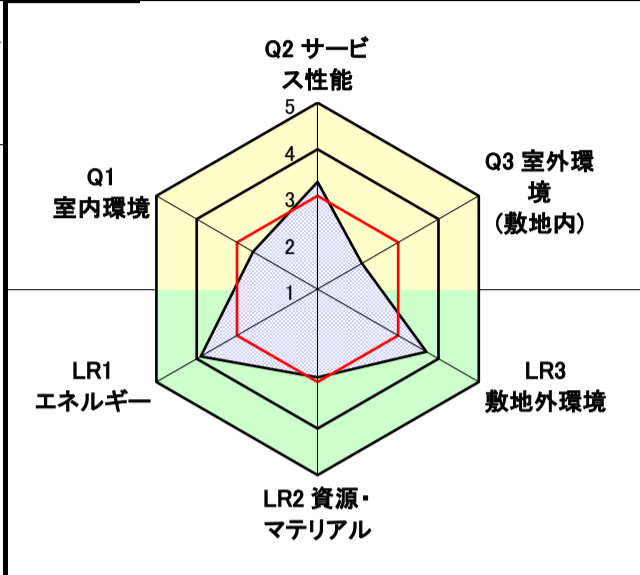
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

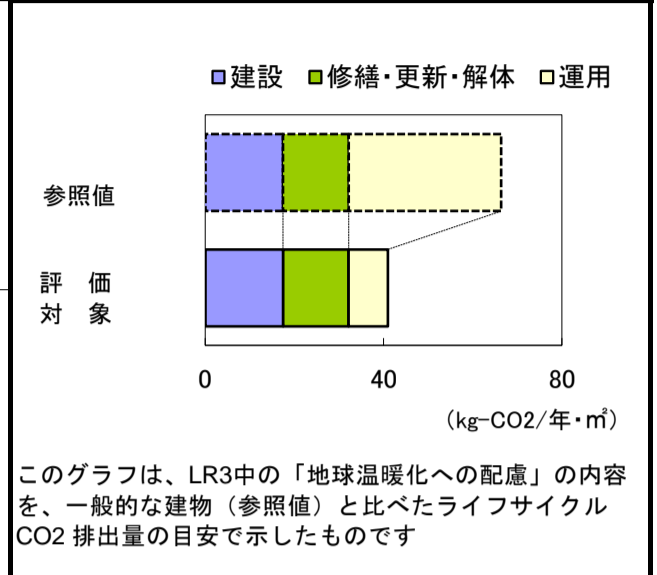
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



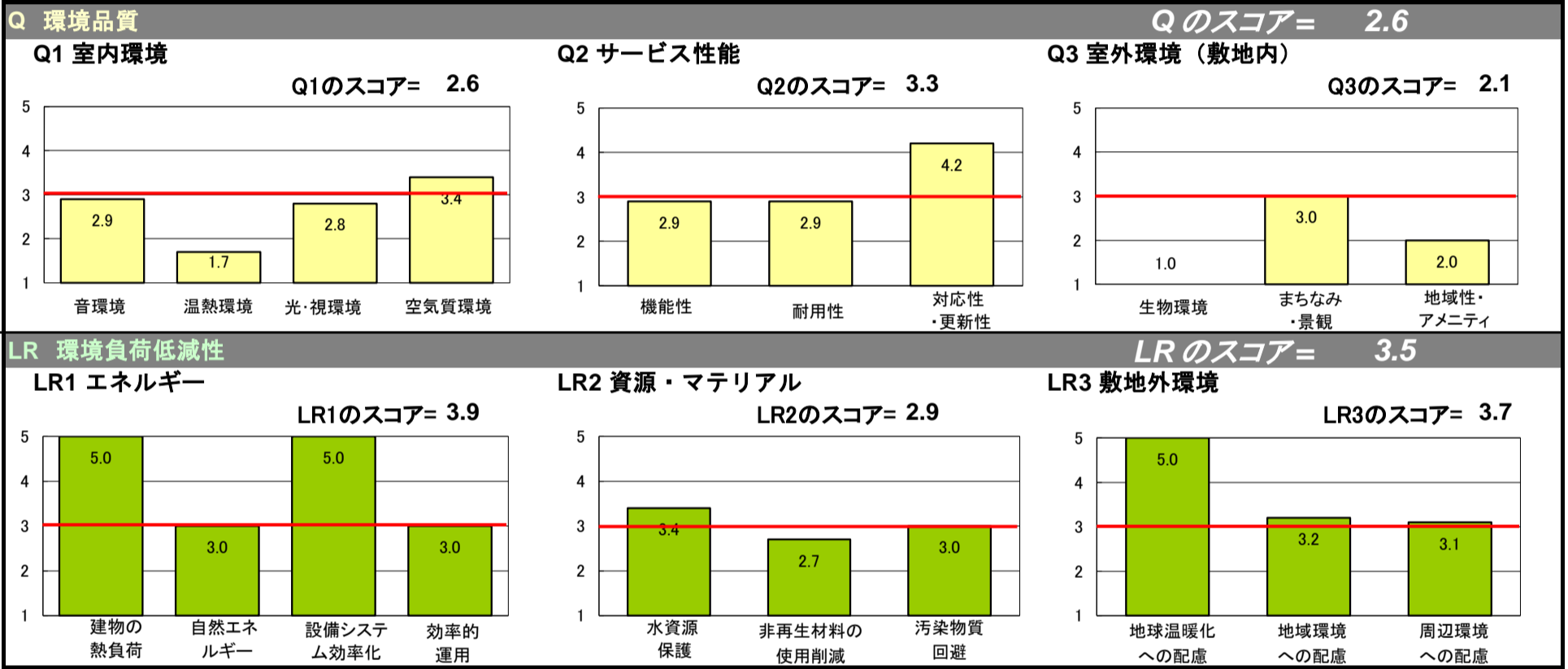
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 本物件は敷地内にある建屋の隣に新たに増築する計画である。外構に関しては今回工事では特に変更の計画はなされていないが、新たに増築する建屋部分に関して、事務所部分にはリフレッシュスペースを設けて快適性に配慮したり、オール電化とすることによって敷地外への大気汚染防止に配慮している。		その他
Q1 室内環境 ・照明を作業単位毎に細かな制御にして配慮している。 ・全面的にF☆☆☆☆の内装材を採用しシックハウス対策に配慮している。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い内装材及び配管材の採用に配慮している。 ・リフレッシュスペースや自動販売機を設置し、快適性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・室外機は風通しのよい場所に設置するなど温暖化防止に配慮している。 ・死角となりやすい部分にITVカメラを設置し、地域住民の安心・安全への配慮をしている。
LR1 エネルギー ・高効率な照明器具を採用している。	LR2 資源・マテリアル ・過半の便器及び水栓器具に節水機能のある機器を採用し、節水に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・オール電化として大気汚染防止に配慮している。 ・効率の良いランプを採用したり、緑化を豊富に行い温熱環境悪化の改善に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される